



TOHO IR Report

アニメーション作品の好調な稼働により、大幅な増収増益を達成。 コロナ禍の厳しい環境を乗り越え、通期業績予想を上方修正。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第133期第2四半期（2021年3月1日から2021年8月31日まで）の業績等につきまして、
ここにご報告申し上げます。



代表取締役社長
島谷能成

はじめに、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、罹患された方々とそのご家族に対し心よりお見舞いを申し上げ、一日も早いご快復をお祈り申し上げます。また、感染症の終息に向けご尽力されている医療関係者の皆様に深く敬意を表し、感謝申し上げます。

第2四半期期間中における緊急事態宣言の継続と全国的な感染拡大は、映画館の座席制限、営業時間短縮をはじめとして、引き続き当社グループの事業に大きな影響をもたらしました。そのような大変厳しい環境の中においても、当社グループの各映画館や演劇劇場は、適切な感染防止策を講じながら、安心・安全を優先した事業継続に努力を重ねてまいりました。

劇場用映画においては、第1四半期公開の『シン・エヴァンゲリオン劇場版』『名探偵コナン 緋色の弾丸』を皮切りに、夏休み作品の『竜とそばかすの姫』『僕のヒーローアカデミア THE MOVIE ワールドヒーローズミッション』のアニメーション作品が大ヒットを記録し、久しぶりの洋画娯楽大作となった東宝東和配給『ワイルド・スピード/ジェットブレイク』も高稼働いたしました。

また、映像事業において「呪術廻戦」「ウマ娘 プリティーダービー Season 2」「僕のヒーローアカデミア」といったTOHO animationの各作品が、Blu-ray等の販売や

商品化ライセンス、国内外での配信等の多面的な展開により、会社業績を大きく牽引する特筆すべき成果をあげました。

演劇事業においては、コロナ禍の大変難しい環境の中、『Endless SHOCK -Eternal-』や『レ・ミゼラブル』といった人気ミュージカル作品をほぼ予定通り上演することができ、ライブならではの感動を多くのお客様にお届けすることができました。

不動産事業でも、商業テナントの厳しい状況は続きましたが、きめ細かい対応により堅調な業績を収めることができました。

以上の結果として、第2四半期決算は、営業収入1,180億5千万円（前年同四半期比59.5%増）、営業利益214億6千3百万円（同202.4%増）、経常利益227億5千2百万円（同188.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益150億8千1百万円（同297.3%増）と大変厳しかった前年同期から一転し、大幅な増収増益となりました。

今後の見通しですが、9月30日をもって緊急事態宣言等が解除され、ワクチン接種も進み、感染者数も減少していることから、当社グループの事業環境は徐々に通常の状況に戻りつつあり、エンタテインメント全般に対するお客様のニーズや行動も緩やかに回復に向かっていくもの

と思われます。ただし、感染再拡大の懸念も決して弱まっておらず、先行きは不透明であり、お客様や従業員の安心・安全を最優先に考え、慎重に事業を進めていく必要があると考えております。

映画では、12月24日公開のTOHO animation作品『劇場版 呪術廻戦 0』でお正月に大きな話題を提供することを目指しております。演劇では、12月の帝国劇場で人気ミュージカル『ABC座ジャニーズ伝説2021 at IMPERIAL THEATRE』、シアタークリエで『ガラスの動物園』など、数多くの公演を予定しておりますので、どうぞご期待ください。

通期の見通しとしては、営業収入2,260億円（前年度比17.7%増）、営業利益380億円（同69.3%増）、経常利益400億円（同65.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益260億円（同77.0%増）と、期初に公表しておりました業績予想を上方修正し、前期実績を大きく上回る見込みであります。

今後も東宝グループは、「健全な娯楽を広く大衆に提供する」という企業使命を忘れず、変化する環境に柔軟に対応し、さらなる成長を続けてまいります。

株主の皆様におかれましても、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

Financial Highlights 連結財務ハイライト

より詳しい財務情報は当社IRサイトをご覧ください。

アドレスはこちら>><https://www.toho.co.jp/company/ir/>

営業収入
1,180億円
(前年同四半期比59.5%増)

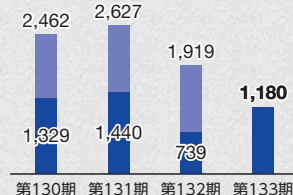
営業利益
214億円
(前年同四半期比202.4%増)

経常利益
227億円
(前年同四半期比188.1%増)

親会社株主に帰属する
四半期純利益
150億円
(前年同四半期比297.3%増)

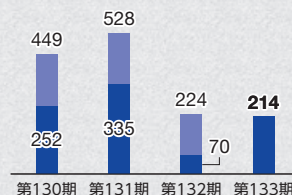
▶▶営業収入 (億円)

■第2四半期連結累計期間 ■期末



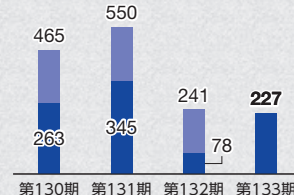
▶▶営業利益 (億円)

■第2四半期連結累計期間 ■期末



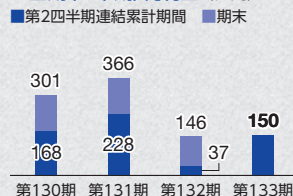
▶▶経常利益 (億円)

■第2四半期連結累計期間 ■期末



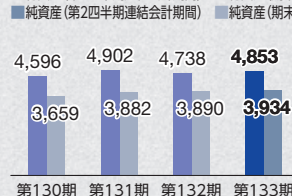
▶▶親会社株主に帰属する
当期(四半期)純利益 (億円)

■第2四半期連結累計期間 ■期末

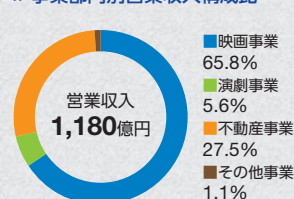


▶▶総資産/純資産 (億円)

■総資産(第2四半期連結累計期間) ■総資産(期末)
■純資産(第2四半期連結累計期間) ■純資産(期末)



▶▶事業部門別営業収入構成比



Coming Soon

公開予定作品および公演予定作品

当社は、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、下記の作品を通して皆様に笑顔をお届けしてまいります。
 (当資料は10月28日時点での情報を基に作成しております。新型コロナウイルス感染症拡大の影響によってラインナップに変更が生じる可能性があります。)

● 映画事業



『あなたの番です 劇場版』
12月10日公開予定
©2021「あなたの番です 劇場版」製作委員会



『劇場版 呪術廻戦 0』
12月24日公開予定
© 2021「劇場版 呪術廻戦 0」製作委員会
© 芥見下々／集英社



『コンフィデンスマンJP 英雄編』
2022年1月14日公開予定
©2022「コンフィデンスマンJP」製作委員会

● 演劇事業



『ガラスの動物園』
12月12日～30日予定
シアタークリエ公演



『笑う男 The Eternal Love -永遠の愛-』
2022年2月3日～19日予定
帝国劇場公演

映画事業

当下期提供予定映画作品 (映像事業部配給作品を除く)

- ・マスカレード・ナイト
- ・燃えよ剣
- ・劇場版「きのう何食べた?」
- ・土竜の唄 FINAL
- ・あなたの番です 劇場版
- ・劇場版 呪術廻戦 0
- ・コンフィデンスマンJP 英雄編

演劇事業

当下期提供予定演劇作品

- ・DREAM BOYS
- ・ナイツ・テイルー騎士物語ー
- ・マイ・フェア・レディ
- ・ABC座 ジャニーズ伝説2021 at IMPERIAL THEATRE
- ・笑う男 The Eternal Love -永遠の愛-
- ・舞台「千と千尋の神隠し」

シアタークリエ

Topics

トピックス

SDGsの第一歩 ～TOHOシネマズの取り組み～

プラスチックごみの不適切な廃棄が世界的に深刻な環境問題となる中、TOHOシネマズは全国に展開するシネコンチェーンとしてその削減に取り組むことが、社会における重要な責務であると考えています。

TOHOシネマズ日比谷および梅田では、10月にコンセクションで提供していた使い捨てプラスチック製ストローを、植物由来のバイオマスを配合した環境配慮型ストローに切り替えました。同劇場では、環境に配慮した原料で製造したポップコーンカップとドリンクカップへの切り替えを11月より始めています。

この取り組みは今後劇場数を増やし、最終的には全劇場でストローとポップコーンカップ・ドリンクカップが切り替わる予定です。

上記以外にも、コンセクションで発生する食品廃棄ロス削減への取り組みを始めるとともに、映画館での省電力のために照明のLED化やエネルギー効率の良い機器への更新を進めております。

TOHOシネマズは、環境に対してできることを少しずつ進め、皆様に愛される映画館であり続けたいと考えています。





TOHOシネマズは幕間でSDGsへの取り組みを紹介しています

≫株式の状況 (2021年8月31日現在)		≫株式事務のご案内	
発行可能株式総数	400,000,000株	株主名簿管理人	東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
発行済株式の総数	186,490,633株	事務取扱場所	
	(自己株式9,868,916株を含む)	(郵便物送付先)	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
株主数	27,311名	(電話照会先)	0120-232-711 (通話料無料)
	(前期末比1,900名減)	*証券会社で株を保有されている株主様は、ご利用の証券会社にお問い合わせください。	